

03 テキストを画像の横に 回り込ませよう

float プロパティを使って、画像の周囲にテキストを回り込ませます。float は少しクセのあるプロパティなので、Web ブラウザで表示確認を行いながら作業を進めましょう。

```
color:#f3a42c;
}
#content h3{
background-image:url(img/icon.png);
background-repeat:no-repeat;
background-position:left center;
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
}
#content p{
```

① 入力する

② Enter を押す

```
#content h3{
background-image:url(img/icon.png);
background-repeat:no-repeat;
background-position:left center;
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
}
#content p{
padding-right:15px;}
```

① 入力する

② Enter を押す

1 セレクタを入力する

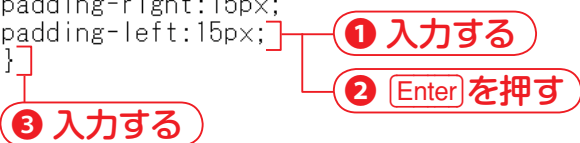
まず、文章の右方向と画像の左方向に余白を付けます。CSSの最終行に #content p{ を入力し ①、`[Enter]` キーを押します ②。#content p は、「content」という id 名が付いた要素の中にある、p 要素という意味です。

2 padding-right プロパティと値を入力する

padding-right:15px; を入力し ①、`[Enter]` キーを押します ②。padding-right は内容の右方向に付く余白を指定するためのプロパティです。



```
background-image:url(img/icon.png);
background-repeat:no-repeat;
background-position:left center;
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
}
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
```



3 padding-left プロパティと値を入力する

padding-left:15px;を入力し①、**[Enter]** キーを押して②、}を入力します③。**padding-left** は内容の左方向に付く余白を指定するためのプロパティです。

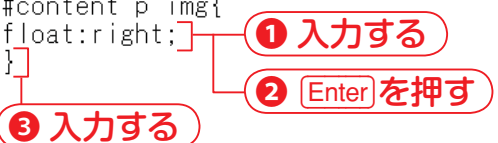
```
background-image:url(img/icon.png);
background-repeat:no-repeat;
background-position:left center;
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
}
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
```



4 セレクタを入力する

CSSの最終行に #content p img{ を入力し①、**[Enter]** キーを押します②。#content p img は、「content」という id 名が付いた要素の中にある、p 要素の中の img 要素という意味です。

```
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
}
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
```



5 float プロパティと値を入力する

float:right;を入力し①、**[Enter]** キーを押して②、}を入力します③。**float** は、それ自体を左または右に寄せて、後に続く要素を反対側に回り込ませるためのプロパティです。ここでは値が **right** なので、#content p img は右に寄せられます。



6 保存する

38～39ページを参考に、メモ帳の [ファイル] メニュー→[上書き保存] (Macの場合は[保存]) の順にクリックして、ファイルを保存し、Webブラウザの [最新の情報に更新] をクリックします①。



7 確認する

画像の左方向と文章の右方向に余白が付いていること、画像が右方向に配置されていることを確認します①。まるでリビングにのような気分の見出し以降は崩れてしまっています。これは #content p img に指定したスタイル float:right; が原因です。

```
#content h3{
background-image:url(img/icon.png);
background-repeat:no-repeat;
background-position:left center;
color:#6a8125;
padding-left:16px;
margin-left:15px;
clear:right;
}
#content p{
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
```

① Enter を押す

② 入力する

8 clear プロパティと値を入力する

崩れを解消するために、#content h3 セレクタにスタイルを追加します。margin-left:15px; の直後で Enter キーを押し①、clear:right; を入力します②。clear は、float プロパティの影響を受けて回り込んでいる要素を、本来の位置に配置するためのプロパティです。float:right; の影響を解除するのが目的なので、ここでは right を指定しています。



9 保存する

38～39ページを参考に、メモ帳の [ファイル] メニュー→[上書き保存] (Macの場合は[保存]) の順にクリックして、ファイルを保存し、Webブラウザの [最新の情報に更新] をクリックします①。



10 確認する

崩れが解消されていることを確認します。



clear プロパティ

clear プロパティ float プロパティの影響を受けて回り込んでいた要素を、本来の位置に配置するためのプロパティです。このプロパティを指定された要素と、それ以降の要素は、float の影響を受けずに配置されます。「float:left」の影響を解除するなら「clear:left」、「float:right」なら「clear:right」のように、float プロパティの値と同じ方向を指定します。値を「both」にすれば、float の方向に関係なく解除できます。

clear プロパティは、見出し (h1～h6 要素) や段落 (p 要素) などに対して指定できます。



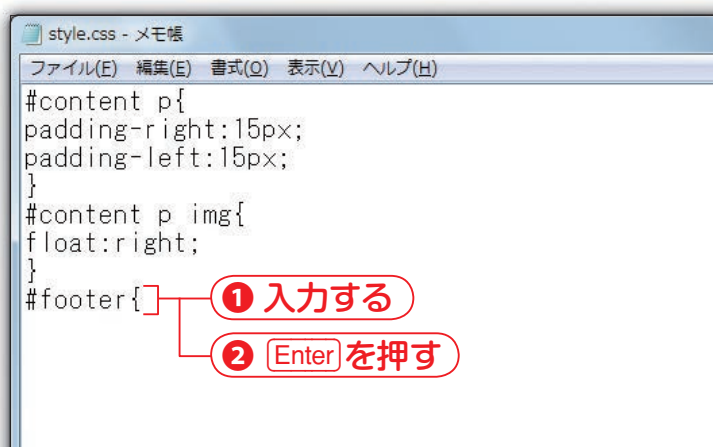
```
p{
  clear:both;
}
```



04 テキストを中央に寄せよう

フッタ内のテキストの配置を行います。

初期状態は左寄せですが、中央寄せ、右寄せの指定が可能です。



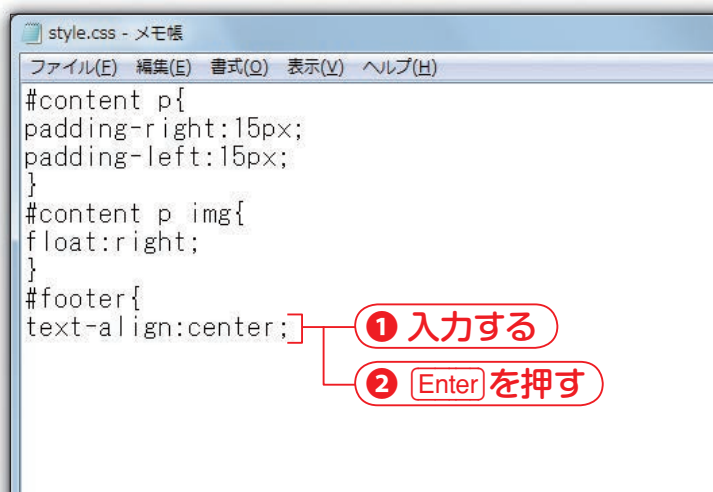
```
style.css - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
#footer{
```

① 入力する

② Enter を押す

1 セレクタを入力する

CSS の最終行に #footer{ を入力し①、**[Enter]** キーを押します②。#footer は、「footer」という id 名が付いた要素という意味です。



```
style.css - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
#footer{
text-align:center;}
```

① 入力する

② Enter を押す

2 text-align プロパティと値を入力する

テキストを中央寄せにします。text-align:center; を入力し①、**[Enter]** キーを押します②。**text-align** は、テキストや画像などの水平方向の配置方法を指定します。この場合は値が **center** なので、「中央に配置する」という指定になります。

Memo

左揃えにする場合は「left」、右揃えにする場合は「right」に値を指定します。



```
style.css - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
#footer{
text-align:center;
clear:right;
}
```

① 入力する

② Enter を押す

3 clear プロパティと値を入力する

まるでリビングにしているような気分の見出しで始まる #content p img に指定された float の影響を解除するために、clear プロパティを追加します。clear:right; を入力し①、**[Enter]** キーを押します②。float:right; の影響を解除するのが目的なので、ここでは **right** を指定しています。

```
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
#footer{
text-align:center;
clear:right;
padding-top:20px;
}
```

① 入力する

② Enter を押す

4 padding-top プロパティと値を入力する

フッタの上方向に余白を付けます。padding-top:20px; を入力し①、**[Enter]** キーを押します②。**padding-top** は内容の上方向に付く余白を指定するためのプロパティです。

```
#content p{
padding-right:15px;
padding-left:15px;
}
#content p img{
float:right;
}
#footer{
text-align:center;
clear:right;
padding-top:20px;
padding-bottom:20px;
}
```

① 入力する

② Enter を押す

③ 入力する

5 padding-bottom プロパティと値を入力する

フッタの下方向に余白を付けます。padding-bottom:20px; を入力し①、**[Enter]** キーを押す②、**}** を入力します③。**padding-bottom** は内容の下方向に付く余白を指定するためのプロパティです。



6 保存する

38～39ページを参考に、メモ帳の [ファイル] メニュー→[上書き保存] (Macの場合は[保存]) の順にクリックして、ファイルを保存し、Webブラウザの [最新の情報に更新] をクリックします①。



7 確認する

テキストが中央寄せになっていること、崩れが解消されていること、上部の余白が付いていることを確認します。



8 完成した

index.html が完成しました。